

ホクレン・ディスタンス 7/19 チャレンジ2025 網走大会

網走市営
陸上競技場



中川選手、今年度5度目の自己記録更新！

田村選手もセカンドベストの好走！



北海道内を転戦するホクレン大会の最終戦、網走大会に3名の選手が出場しました。先日の日本選手権に出場した田村選手は、大きなレースを終えた後の身体と心の疲労が残る中でしたがレースではしっかりと集中して力を発揮し、自己記録更新までとわずか0.34秒という好記録で走破しました。

5000mB組に出場した中川選手は2000mを過ぎて先頭に立つと、一番苦しい4000mまでレースを引っ張る積極的な走り。中川選手の作る流れに乗って後ろで力を溜めていた他チームの選手にラスト1000mでサポートをされると引き離されはしましたが自分の走りを崩すことなく走り切り、目標にしていた15分台にはわずかに届かなかったものの今年度5度目となる自己記録更新の好走を見せました。

前回のホクレン千歳大会5000mで自身4度目の15分台を出した花野選手は最終戦でも自己記録の更新をめざして挑戦しました。前半は積極的に動かしていましたが、連戦の疲労もあり、中盤以降は我慢のレースとなりました。しかし、その中でもしっかりと纏めて走り切る強さを見せました。

ホクレン大会5戦中の4戦に出場した日立の選手たち、自己記録を4回更新した収穫のある大会となりました。

女子3000m

セカンドベスト！

9分17秒79 14位/28名

田村紀重選手



たくさんの応援をありがとうございました！

今レースは日本選手権が終わり、強化期間へ向かうための切り替えのレースとして出場しました。

欲を言えば自己記録の更新をしたかったという思いはありますが、うまく走れない日が続いており9分20秒から25秒を想定していた中だったので気持ちを切らさず2ndベストでも走り切ることができて心身ともに切り替えのいいきっかけにすることができました。

今後は長期の強化期間へ入りますが、駅伝シーズンで元気な姿を見せられるよう取り組んでいきます！

前半シーズンもたくさんの応援をありがとうございました！



自己記録更新!

女子5000mB

16分01秒76 3位/25名



中川千愛選手

今回の5000mは15分台を狙って調整して挑みましたが15分台に届かず、悔しさを感じるとともに今後の課題が明確になったレースでした。ラスト1000mからの切り替えができて走り小さくなってしまうことが今の課題で、体の使い方の部分でもっと上手に動かせるようになればストライドも広がり、上手く体重を乗せて走る事ができ、ラストのスピードの切り替えも可能になると思います。ここから走り込み期間に入るので、練習を積んでいっつも筋力トレーニングにも取り組んで秋以降のトラックレースはもちろん駅伝に向けて練習の目的を理解しながら取り組んでいきます。応援ありがとうございました。



女子5000mA

16分20秒49 17位/25名



花野桃子選手

前回のレース後から疲労感が取れず、序盤から余裕がなくて苦しい走りになりました。

しかし、この1ヶ月間は自分で決めたことを妥協せずに継続して取り組むことができて、2本とも走り切ることができました。

夏合宿では課題にしっかりと向き合いながら練習を積んで、秋の駅伝シーズンで良い走りができるように頑張ります!

応援ありがとうございました。

応援ありがとうございました!

